

師団創立60周年・練馬駐屯地創設71周年記念行事

頭号師団



発行元
第1師団司令部
総務課広報班

第1師団
ホームページ
QRコード



統率方針

全ては任務が基準

3年ぶり！練馬駐屯地に活気溢れる！



来賓に対し式辞を述べる執行者



執行者と東京都知事による巡閲



リベリングにより入場する



祝辞を述べる小池東京都知事



観閲部隊指揮官と幕僚

第1師団は4月10日、練馬駐屯地において「第1師団創立60周年・練馬駐屯地創設71周年記念行事」を挙行し、第1師団及び練馬駐屯地に対する地域住民の理解と信頼を深めるとともに隊員の使命の自覚と士気の高揚を図った。

当日は天候に恵まれ、招待者、師団の協力者や地域住民等約2300人が駐屯地を訪れた。

式典は執行者（師団長）及び観閲部隊指揮官（副師団長）のリベリングによる入場から始まった。その後、観閲部隊の人員約800人が師団の威容を示した。

式辞で師団長は観閲部隊に対し「我が国周辺の安

隊に対し「我が国周辺の安

全保障環境はこの60年間で最も厳しい情勢となっている。まさに自衛隊の真価が問われる時代、国民の生命・財産を守り抜くため、この選歴を迎えたことを契機とし、0歳に戻ったように原点に立ち返り、首都防衛の備えを完整させていこう」と訓示した。また来場者に対しては「第1師団は最後の最後の皆です。ただし、第1師団約6千人の

みで首都機能を維持することは不可能です。警察・消防・海保・地方自治体等公共機関の皆さんの協力が必要です。電気・ガス・水道・通信・交通・医療などの指定公共機関のライフラインは首都機能の生命線です。防衛産業は日本の防衛力そのものです。フル稼働で装備

品等の補給・整備をお願いします。自衛隊OBの先輩方、有事の際は、もう一度自衛官になって銃を取ってください。そのためには健康にご留意を。そして最後にご来場の都民・県民の皆様、引き続き自衛隊の行動に関するご理解ご協力をお願いします。加えて普段自衛隊

とはなかなか接することのない市民の皆様が我が国防衛や自衛隊の現状について啓発していただければと思っています」と式辞を述べた。

小池都知事は「首都東京、都民・国民の生命と財産を守るため、兒玉師団長の指揮の下、強い責任感と使命感をもって、

任務に精励されることを心から期待いたします」と祝辞を述べた。

本年度の記念行事は、観閲行進は行わず、各部隊の特性を生かした動的展示と静的展示による部隊紹介を行った。特に注目を浴びたのは、今年度より新編された第1偵察戦闘大隊の16式機動戦



動的展示



装輪車体験試乗及び自衛隊体験



装備品展示

闘車の迫力ある性能展示であり、来場者のどよめきと大きな拍手が沸き起こった。

装備品展示では各種装備品がどの様に機能發揮するかについて、来場者に分かりやすく理解して頂くため、装備品の動的な展示をツアー形式で行った。間近で動く装備品を見た来場者からは「初めて近くで動いているのを見て感動した。迫力があって格好良い」等の感想があった。

また装輪車体験試乗や、ロープ渡りなどの自衛隊体験のほか、駐屯地食堂では記念会食が和やかに行われ、行事は成功裏に終了した。

自ら考え 創造的破壊に挑戦 第1回師団訓練検閲

6月2日～3日
徒步行進



32普連



1特



1高大



1通大



師団長も歩きました！
(副官と伝令も一緒に)

4日、32普連は1特の攻撃準備射撃の下、連隊攻撃目標に向け攻撃を開始、5日夕方には目標地域の確保に成功した。
6日、32普連隊長が師団長に今後の防御構想について報告した時点をもって、本訓練検閲の状況を終了した。

対抗部隊（市街地）お疲れ様でした。



対抗部隊長（副師団長）と赤部隊員（1普連）と記念写真



第1特科隊



5月31日～6月1日
対ゲリラコマンドウ



第32普通科連隊



第32普通科連隊 第1特科隊 第1高射特科大隊 第1通信大隊



第32普通科連隊、第1特科隊、第1高射特科大隊及び第1通信大隊は、5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において、訓練検閲を受閲した。
本訓練検閲は「徒步行進に引き続く陣地攻撃」を検閲課題として実施し、更に32普連及び1特に対しては「対ゲリラ・コマンドウ」についても課題として付与しその練度を確認した。訓練検閲実施にあたり統裁官（師団長）は「勝利への執念」、「創造的破壊」、「非戦闘損耗の局限」、「自ら学べ」の4点を要望した。
5月31日から6月1日の間、32普連及び1特は、治安出動次いで防衛出動下令下において住民混在下での武装工作員等への対処を実施した。両部隊は住民の安全確保を最優先事項として行動し、警察・自治体等との各種調整、作戦地域でのスクリーニング等を実施、最終的に潜伏等する武装工作員等を捜索・撃滅して任務を達成した。
6月2日から3日の朝にかけて32普連は約40キロ、1特、1高大及び1通大は約30キロの徒步行進を実施し、引き続き東富士演習場に展開する敵先遣戦闘団（1普連基幹）に対して攻撃を開始した。
攻撃開始に先立ち、1特及び1高大は北富士演習場に陣地占領、また1通大は大隊主力を同じく北富士演習場、一部を師団主力が集結する松本駐屯地に展開させるとともに高ボツ山、甘利山及び富士スバルラインの要地に中継所を開設して、先遣32普連と師団主力との間の指揮連絡を確保するためのシステム通信組織を作戦間維持運営した。
3日、32普連は1中隊を平塚道沿いに、4中隊を戦車道沿いにそれぞれ前進させ、敵警戒部隊を駆逐するとともに、同日15時頃、3中隊及び5中隊を並列して攻撃させ、狐塚から大野一帯を確保し、明朝以降の敵主陣地に対する攻撃の態勢を確立した。
この際、1特は32普連の攻撃発揮の条件を作為するため敵第一線陣地及び敵砲迫部隊を重視して制圧するとともに、積極的な対砲迫戦の実施により、敵砲迫の火力発揮を妨害し無力化させた。
また1高大は、近SAM1コ分隊を32普連に、短SAM2コ小隊及び近SAM1コ分隊を1特にそれぞれ同行させて対空掩護を実施した。
その他、1通大は師団長より「作戦の終始を通じて戦略的コミュニケーション（以下SC）に資する映像を作成し、師団の作戦環境を有利にせよ」との指針を受け、必要な映像資料の撮影を行い、作戦間4本のSC映像を編集して師団司令部に提出した。

自ら考え 創造的破壊に挑戦 第1回師団訓練検閲

6月2日～3日
徒步行進



32普連



1特



1高大



1通大



師団長も歩きました！
(副官と伝令も一緒に)

師団長も歩きました！
(副官と伝令も一緒に)



本訓練検閲は「徒步行進に引き続き陣地攻撃」を検閲科目として実施し、更に32普通科連隊、第1特科隊、第1高射特科大隊及び第1通信大隊は、5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において、訓練検閲を受閲した。

5月31日から6月1日の間、32普通科連隊及び1特科隊は、治安出動次いで防衛出動下令下において住民混在下での武装工作員等への対処を実施した。両部隊は住民の安全確保を最優先事項として行動し、警察・自治体等との各種調整、作戦地域でのスクリーニング等を実施、最終的に潜伏等する武装工作員等を捜索・撃滅して任務を達成した。

6月2日から3日の朝にかけて、32普通連は約40キロ、1特、1高大及び1通大は約30キロの徒步行進を実施し、引き続き東富士演習場に展開する敵先遣戦闘団(1普通連基幹)に対して攻撃を開始した。

3日、32普通連は1中隊を平塚道沿いに、4中隊を戦車道沿いにそれぞれ前進させ、敵警戒部隊を駆逐するとともに、同

日15時頃、3中隊及び5中隊を並列して攻撃させ、狐塚から大野一帯を確保し、明朝以降の敵主陣地に対する攻撃の態勢を確立した。

この際、1特は32普通連の攻撃発揮の条件を作

るため敵第一線陣地及び敵砲迫部隊を重視して制圧するとともに、積極的な対砲迫戦の実施により、敵砲迫の火力発揮を妨害し無力化させた。

また1高大は、近SAM1コ分隊を32普通連に、短SAM2コ小隊及び近SAM1コ分隊を1特にそれぞれ同行させて対空掩護を実施した。

その他、1通大は師団長より「作戦の終始を通じて戦術的コミュニケーション(以下SC)に資する映像を作成し、師団の作戦環境を有利にせよ



第1特科隊



第32普通科連隊、第1特科隊、第1高射特科大隊及び第1通信大隊は、5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において、訓練検閲を受閲した。

5月31日から6月1日の間、32普通科連隊及び1特科隊は、治安出動次いで防衛出動下令下において住民混在下での武装工作員等への対処を実施した。両部隊は住民の安全確保を最優先事項として行動し、警察・自治体等との各種調整、作戦地域でのスクリーニング等を実施、最終的に潜伏等する武装工作員等を捜索・撃滅して任務を達成した。

6月2日から3日の朝にかけて、32普通連は約40キロ、1特、1高大及び1通大は約30キロの徒步行進を実施し、引き続き東富士演習場に展開する敵先遣戦闘団(1普通連基幹)に対して攻撃を開始した。

3日、32普通連は1中隊を平塚道沿いに、4中隊を戦車道沿いにそれぞれ前進させ、敵警戒部隊を駆逐するとともに、同

日15時頃、3中隊及び5中隊を並列して攻撃させ、狐塚から大野一帯を確保し、明朝以降の敵主陣地に対する攻撃の態勢を確立した。

この際、1特は32普通連の攻撃発揮の条件を作

るため敵第一線陣地及び敵砲迫部隊を重視して制圧するとともに、積極的な対砲迫戦の実施により、敵砲迫の火力発揮を妨害し無力化させた。

また1高大は、近SAM1コ分隊を32普通連に、短SAM2コ小隊及び近SAM1コ分隊を1特にそれぞれ同行させて対空掩護を実施した。

その他、1通大は師団長より「作戦の終始を通じて戦術的コミュニケーション(以下SC)に資する映像を作成し、師団の作戦環境を有利にせよ

5月31日～6月1日
対ゲリラコマンドウ



第32普通科連隊



第32普通科連隊、第1特科隊、第1高射特科大隊及び第1通信大隊は、5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において、訓練検閲を受閲した。

5月31日から6月1日の間、32普通科連隊及び1特科隊は、治安出動次いで防衛出動下令下において住民混在下での武装工作員等への対処を実施した。両部隊は住民の安全確保を最優先事項として行動し、警察・自治体等との各種調整、作戦地域でのスクリーニング等を実施、最終的に潜伏等する武装工作員等を捜索・撃滅して任務を達成した。

6月2日から3日の朝にかけて、32普通連は約40キロ、1特、1高大及び1通大は約30キロの徒步行進を実施し、引き続き東富士演習場に展開する敵先遣戦闘団(1普通連基幹)に対して攻撃を開始した。

3日、32普通連は1中隊を平塚道沿いに、4中隊を戦車道沿いにそれぞれ前進させ、敵警戒部隊を駆逐するとともに、同

日15時頃、3中隊及び5中隊を並列して攻撃させ、狐塚から大野一帯を確保し、明朝以降の敵主陣地に対する攻撃の態勢を確立した。

この際、1特は32普通連の攻撃発揮の条件を作

るため敵第一線陣地及び敵砲迫部隊を重視して制圧するとともに、積極的な対砲迫戦の実施により、敵砲迫の火力発揮を妨害し無力化させた。

また1高大は、近SAM1コ分隊を32普通連に、短SAM2コ小隊及び近SAM1コ分隊を1特にそれぞれ同行させて対空掩護を実施した。

その他、1通大は師団長より「作戦の終始を通じて戦術的コミュニケーション(以下SC)に資する映像を作成し、師団の作戦環境を有利にせよ



第1特科隊



第32普通科連隊、第1特科隊、第1高射特科大隊及び第1通信大隊は、5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において、訓練検閲を受閲した。

5月31日から6月1日の間、32普通科連隊及び1特科隊は、治安出動次いで防衛出動下令下において住民混在下での武装工作員等への対処を実施した。両部隊は住民の安全確保を最優先事項として行動し、警察・自治体等との各種調整、作戦地域でのスクリーニング等を実施、最終的に潜伏等する武装工作員等を捜索・撃滅して任務を達成した。

6月2日から3日の朝にかけて、32普通連は約40キロ、1特、1高大及び1通大は約30キロの徒步行進を実施し、引き続き東富士演習場に展開する敵先遣戦闘団(1普通連基幹)に対して攻撃を開始した。

3日、32普通連は1中隊を平塚道沿いに、4中隊を戦車道沿いにそれぞれ前進させ、敵警戒部隊を駆逐するとともに、同

日15時頃、3中隊及び5中隊を並列して攻撃させ、狐塚から大野一帯を確保し、明朝以降の敵主陣地に対する攻撃の態勢を確立した。

この際、1特は32普通連の攻撃発揮の条件を作

るため敵第一線陣地及び敵砲迫部隊を重視して制圧するとともに、積極的な対砲迫戦の実施により、敵砲迫の火力発揮を妨害し無力化させた。

また1高大は、近SAM1コ分隊を32普通連に、短SAM2コ小隊及び近SAM1コ分隊を1特にそれぞれ同行させて対空掩護を実施した。

その他、1通大は師団長より「作戦の終始を通じて戦術的コミュニケーション(以下SC)に資する映像を作成し、師団の作戦環境を有利にせよ

第32普通科連隊 第1特科隊 第1高射特科大隊 第1通信大隊

対抗部隊(対ゲリラ・コマンドウ) お疲れ様でした。



対抗部隊長(副師団長)と赤部隊隊員(1普連)と記念写真

令和4年度春季北富士演習場定期整備 第1普通科連隊



射場の整備

第1普通科連隊は、4月11日から21日までの間、北富士演習場において、運用構想に基づく演習場機能の維持・向上及び長期安定使用を目的として春季演習場定期整備を実施した。



側溝整備



溜め枀の整備

等々、整備を工程管理に基づき実施し、朝夕の寒暖差が厳しい中ではあったが順調に整備を実施し、

予定より早く整備を完了した。本整備は連隊長を北富士整備隊長として、師団隷下から8コ部隊及び部隊訓練評価隊の配属を受けて整備隊を編成し、同演習場の整備を実施した。この際、整備隊長は各整備隊に対し「作業工程表に基づく工程管理」「安全・健康管理の徹底」の2点を要望し、各整備隊は人力及び機械力を主体とした機動路、各種訓練場及び射場等の整備を工程管理に基づき実施し、寒暖差が厳しい中ではあったが順調に整備を実施し、

連隊 狙撃手集合訓練 第34普通科連隊



雨の中の射撃

第34普通科連隊は4月26日、東富士演習場において「第1回連隊狙撃手集合訓練」を実施した。5月18日から19日の間、北富士演習場において「第2回連隊狙撃手集合訓練」を実施した。



目標に対して射撃の態勢をとる狙撃手



夜間潜入を開始する狙撃手

輸送隊・衛生隊訓練検閲 第1後方支援連隊

第1後方支援連隊は6月2日から6月6日までの間、北富士演習場において輸送隊及び衛生隊に対して訓練検閲を実施した。訓練検閲は、統裁官要項事項である「生存し、支援を継続せよ。」のもと、30キロの徒歩行進に引き続き師団の陣地攻撃における後方支援連隊の一連の行動について行われた。

輸送隊は日々の夜間の計画輸送を実施するとともに、補給品の緊急輸送中における伏撃対処において、警戒車両の迅速かつ冷静沈着な判断とその掩護のもとに後退し、迂回経路を活用して対処するなどして検閲間の任務を達成した。

衛生隊は、化学攻撃を受けた第一線部隊の患者を第1特殊武器防護隊が開設した師団除染所と連携して処置・後送するとともに大量患者発生時には、患者の状態に応じて素早いトリアージを実施し、重症患者を第1飛行隊と連携してヘリコプターで後送するなど適切な救急処置を実施して任務を完了した。

第1次大隊訓練 第1偵察戦闘大隊

第1偵察戦闘大隊は5月10日から17日までの間、東富士演習場において第1次大隊訓練を実施した。



対空射撃要領を研修



16MCVの射撃



60mm迫撃砲の射撃

本訓練において各中隊は、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を、大隊本部は指揮幕僚活動について演練し、練度の向上を図った。また、5月23日から26日までの間、北富士演習場において16式機動戦闘車、87式偵察警戒車及び60mm迫撃砲

第1回施設合同訓練 第1施設大隊



携帯障害処理器材を設置

の射撃訓練を実施し射撃練度の向上を図った。第1施設大隊は3月31日から4月2日までの間、東富士演習場において師団隷下部隊の障害処理及び障害構成の練度向上を図ることを目的とし、令和4年度第1回施設合同訓練を実施した。本訓練は前段（3月

31日から4月1日）と後段（4月2日）に分けて実施した。前段は普通科連隊の隊員を中心に、複合障害（地雷及び対戦車壕）の偵察から障害処理までを一連の状況下で行い、その状況を隊員たちに確認させた。また携帯障害処理器材、導爆線等を用いた鉄条網の処理要領について教育訓練した。後段は師団隷下部隊による対人地雷の実爆処理



爆破薬を設置



患者搬送

輸送隊及び衛生隊の連隊訓練検閲での成果をもとに、師団検閲受閲に向け更なる野外能力の向上を図っていく予定である。



緊急輸送

1後支連は、輸送隊及び衛生隊の連隊訓練検閲での成果をもとに、師団検閲受閲に向け更なる野外能力の向上を図っていく予定である。

東日本大震災支援活動復興祈念写真展&コンサート



コンサートの様子



「明日へ」を歌う綾3曹



みちのく讃歌を歌とともに演奏

第1音楽隊

第1音楽隊は6月5日、東京都池袋西公園野外劇場グロバルリンクシアターにおいて行われた「豊島区東日本大震災支援活動復興祈念写真展&コンサート」に参加した。本行事は震災から11年の歳月が流れる中で、災害の記憶を風化させず日頃より防災意識を持つてもらおう目的で2部構成により行われ、その中の第2部の復興祈念コンサートにおいて、東京消防庁音楽隊、在日米陸軍軍楽隊による演奏に引き続いて、1音は「キボウノカゼ」、「花は咲く」を演奏「明日へ」、「東北民謡メドレー『みちのく讃歌』」を歌とともに演奏し、来場者に感動を与えるとともに、東日本大震災の復興を願い、行事の結実に寄与した。

第1回飛行隊訓練

第1飛行隊

第1飛行隊は、5月12日から14日までの間、北富士演習場等において第1回飛行隊訓練を実施した。また、空中消火訓練を通じ能力向上を図



空中消火訓練

初日はB1 GAN開設、昼夜間の係留点操作を行い、13日は、航空機偽装訓練及び東富士ダムを活用した空中消火訓練を行った。

り、山林火災等への備えに万全を期した。隊は12日午前、北富士演習場滑走路地域へ向けて車両6両をもって前進（生地車両走行訓練）し、時間差で推進して飛来したUH-1 2機を受け入れた。



航空機偽装訓練

この春異動してきた訓練参加隊員は「雄大な富士山を臨む場所での訓練は言葉に言い表せないものがありました。人や環境、第1飛行隊の訓練要領に早く馴染み戦力発揮できるよう邁進していきます」と今後の意気込みを語っていた。

第1次師団訓練検閲

第1師団司令部付隊



統裁部食堂の様子



演習CPで配食の様子



統裁CP及び演習CPでの勤務の様子



炊事の様子



第1師団司令部付隊は5月31日から6月8日までの間、北富士、東富士演習場等において第1回師団訓練検閲に85名を持って参加し、整齊・

円滑な検閲統裁に寄与した。

第2回隊訓練

第1特殊武器防護隊



32普連と調整する隊員

第1特殊武器防護隊は5月30日から6月6日の間、北・東富士演習場において偵察小隊訓練

検閲の実施した。本訓練検閲は師団訓練の状況において、第32普通科連隊及び第1特科隊に対し化学的支援を行い、偵察小隊は所望の訓練成果を収めること

ができた。訓練検閲終了後は、師団除染所における除染小隊と第1後方支援連隊衛生隊との協同訓練及び隊本部要員に対する指揮所訓練を行い、複合傷病者

（除染と傷口の治療が同時に必要な傷病者）に対する処置要領について練成し、相互の連携要領について確認するとともに今後の訓練の資とすることができた。



汚染状況での患者搬送



複合傷病者に対する処置要領



第34普通科連隊



師団は3月23日、防衛省（市ヶ谷）において、令和3年7月1日からの大雨による災害派遣に尽力した功績により、岸防衛大臣から表彰状を授与された。本表彰は、静岡県熱海市で災害派遣に従事した派遣部隊等に対し、民生の安定に寄与した功績を称えるもので、師団は3日間、延べ約1万5千人、指揮所及び現地で活動した。



岸防衛大臣から表彰状を授与される師団長

岸防衛大臣より表彰



第1特殊武器防護隊



師団は「令和3年度隊務優秀部隊表彰」を実施した。本表彰は部隊の士気高揚に資することを目的としている。年度を通じて各部隊の訓練、服務等の検査の3分野において総合評価した結果を踏まえ、4月22日に第1特殊武器防護隊（練馬駐屯地）及び28日に第34普通科連隊（板妻駐屯地）を表彰した。



1飛 濱口2尉



1高大 阿部士長



松本 實様による講話（上下）



師団懇話会の研修（上下）



部隊研修

師団は4月8日、情報保全標語の優秀作品に選出された2人の隊員に対して、師団長表彰を実施した。情報保全標語は情報保全期間中に、隊員の情報保全意識の高揚、保全事故防止等に資する目的で募集し、各隷下部隊は厳選した1点を師団司令部に提出した。司令部での厳選審査の結果、第1飛行隊 濱口2尉の作品「デジタル戦 勝ちへの一歩は 保全から」と第1高射特科大隊 阿部士長の作品「身をを守る口も心も マスクして」の2点が選出され師団長から表彰状を授与された。

第1師団訓練検閲間において、6月5日、師団懇話会による訓練現地研修を実施するとともに、6日には旧陸軍第1師団長副官を務められた松本 實様による先の大戦の体験に基づく部外講話（意見交換会）を実施し、貴重な経験談を拝聴する機会を得ることができた。

【次回予告】

次回「自然狙点について」を、掲載予定です。しかしながら、今回の掲載はいつものように、切取り、射撃資料としてお役立て下さい。

5 見送り

1 見送りの目的
視線による失点を次弾に引きずらない。

2 見送りの確認
射撃後の銃の跳ね上がる高さを見る。

4 撃発

撃発とは、標的を確認して照準し、中心を撃つために引き金を引くことである。

つまり標的に当てる意思をもって弾を発射する事で弾の正確な命中は、狙撃手自身の責任である。

ポイント

1 撃発の振り方の種類
ア 振り角（腕の角度）により撃発の重さが変わる。
イ 撃発する際、右手の握りに撃発時の力が伝わりやすいように注意。
2 撃発の振り方と引き金の重さの関係。引き金が重い・重さを掌握していないと撃発力が伝わりずれるが、下に傾向あり。（引き金）

3 照準

1 照準器、照準、精密照準
照準器には、見出し調整が必要
2 呼吸に合わせて照準
3 呼吸による照準の修正

ポイント

1 視力が最高の状態を維持し得るは最初の数秒間での後視
2 視力が最高の状態を維持し得る時間は約1秒～1.5秒
3 精密照準段階の照準時間は5秒～8秒を超えてはならない。

2 呼吸

1 生命の維持
2 緊張状態からの解放
3 射撃準備
4 呼吸に合わせて射撃

ポイント

1 呼吸を吸った状態で射撃をすると胸に力が入り姿勢が崩れる。
2 呼吸を吐くことにより、余計な力が抜けリラックス状態で射撃が出来る。
3 一定の呼吸の中で、常に同じ状態で射撃をすることで射撃も安定する。

3 姿勢

1 姿勢の維持
2 姿勢の安定
3 姿勢の修正
4 姿勢の維持

ポイント

1 安定した姿勢は、小銃先だけでなく全身で受ける必要がある。
2 銃の反動を一定にさせる。
3 姿勢を崩さない姿勢
4 姿勢の維持

CSMコーナー

第32普通科連隊

最先任上級曹長

准陸尉 西上正道

第32普通科連隊最先任上級曹長の西上准尉です。この機会に最先任のうんちくを語った所で、誰も興味ありませんので、今回は小銃射撃において重要な事項等を紹介させて頂き、各隊員の射撃技術の向上、または射撃指導の糧に少しでもお役に立てばと思うので投稿します。

私は富士学校で実施している「普通科射撃」という教育を受けており、その教育を基に記述します。

まず、「射撃の5要素」をご存じでしょうか？

上記の図の通り、大きく5つの要素に分けられます。これは射撃を行う際に、点検・実施していく順番になります。

准陸尉
星野 裕之第3普通科直接支援中隊
第2整備大隊准陸尉
木下 峰男3等陸尉
若月 雅人

本部管理中隊

第34普通科連隊

陸曹長
宮下 一仁陸曹長
大森 雅一准陸尉
三浦 弘幸

第3中隊

第32普通科連隊

准陸尉
大津 孝始

本部管理中隊

第1普通科連隊

退官者紹介

第1特科隊

隊本部

陸曹長
坂本 晃3等陸佐
深澤 達人2等陸佐
石橋 公一

「家族みんなで応援しています！」

第1特殊武器防護隊

出浦士長 父



兄弟と記念写真 (写真左：出浦士長)

今後、体調にはくれぐれも留意し、さらなる成長ができるよう皆で応援していきます。

三人兄弟の末っ子で、いつもマイペースな純平が自衛隊への熱い気持ちを秘めていたとは……
自衛隊での規律や集団行動に耐える覚悟はあるのか心配でしたが、本人にしては全く問題ないとのこと。
生半可な気持ちではなかつた、そんな息子が誇らしくもあり、心配でもあり、とにかく応援していこうと思いました。
入隊二年目ですが、会う度に体がひと回り大きくなっていて頼もしい限りです。帰省した際は、家族や地元の人たちとコミュニケーションをとりながら、リフレッシュを図っているようです。

いつも息子の純平が大変お世話になっており、ありがとうございます。
純平は学生時代、地元長野を離れ、神奈川県で一人暮らしをしておりました。学生時代も終盤となり、私達は、就活はどうするのかと気にしていたところ、本人から入隊の希望を聞き、家族一同驚きました。

隊員家族紹介



兄弟と記念写真

(写真右から2番目：吉岡士長)

「そして自衛官に」
これからの人への感謝の念を忘れず、日頃の活動等を通じて見識を広げて欲しいと思います。

「そして自衛官に」
第1特殊武器防護隊
吉岡士長

当初強い意思で大学を目指し、受験勉強をしていたが、高二の終わり頃から勉強内容の無意味さからモチベーションが下がり、やがて何もなくなりました。母親は浪人させた意向でしたが、それでは問題解決とはならず、このままでは社会性に乏しいままの大人になってしまうのではとの危機感から、運動や人との交流不足の改善、自立促進という観点から、自衛隊が思い浮かび、説得して入隊を薦めたのがきっかけでした。
性格的に真面目である事から、自衛隊との親和性はあると思っていました。
入隊当初は辞めたいと口にはしている時期もありましたが、今では楽しそうに部隊の話をしてくれるようになりました。自衛官

大好きなダッフィーちゃんと
記念写真第1後方支援連隊 衛生隊
大野2曹 長女

「パパいつもありがとう」

パパいつもお仕事ありがとうございます。
大手町のコロナのワクチン注射にいったとき、パパがずっといなくてさみしいけど、いろんな人のために頑張っているパパがかっこよくて大好きだよ。
パパがうったコロナワクチンで早くコロナがなくなるといいな。コロナがなくなったら、たくさん遊んだり、おでかけしようね。家族のために、たくさんはたらくてくれてありがとう。
これからも元気でいてね。
大好きだよ、パパ。



記念行事の装備品展示にて

自衛官の夫を支える事務官の妻として
第1後方支援連隊 第1整備大隊本部付隊
平野2曹 妻

私は、主人に日々感謝して過ごしています。現在は第2子出産の為、産休を取得していますが、普段は事務官として勤務し、仕事と子育てを両立してきました。

長男は3歳で幼稚園に通園しています。これまで体調を崩すことが多く、看病の為に休暇を取らなければならなかったことが、主人は交互に看病出来るように職場と調整してくれました。また、私の繁忙期には夫が嫌な顔ひとつせず仕事を切り上げて長男の迎えに行ってくれました。

子育てと仕事を両立出来るのは主人だけでなく、このような状況にあっても周りで支えて下さる上司、同僚の皆さんのおかげです。日々主人と支え合いながら周りへの感謝も忘れず、過ごしていきたいと思っています。

今後も演習や災害派遣の従事者で家を不在にする事があると思いますが、どんな環境にあっても笑顔で送り出せる妻でありたいです。そして自衛官の皆さんの為に事務官として役に立てるよう今後も努めていきたいと思っています。

隊員自主募集ご協力をお願い

一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が改正！

18歳以上33未満の男女

自分たちの「同僚・先輩は白らの手で」

悩み相談 0120-1848-38
心理相談 (第1師団心理幹部) 8-31-2215
法律相談 (第1師団法務官) 8-31-2266
倫理相談 (第1師団法務官) 8-31-2265
「うつ」隊員等のサポート 0120-834-939



【お知らせ】

開館時間は平日の9時から15時までです。
お申し込みは1週間前までにご連絡下さい。

隊員家族紹介



大好きなダフィーちゃんと記念写真

パパいつもありがとう
衛生隊 大野2曹 長女



記念行事の装備品展示にて

今後は演習や災害派遣の従事で家を不在にする事があると思いますが、どんな環境にあっても笑顔で送り出せる妻でありたいです。そして自衛官の皆さんの為に事務官として役に立てるよう今後も努めていきたいと思っています。

パパいつもお仕事ありがとうございます。大手町のコロナのワクチン注射にいったとき、パパがずっといなくてさみしいけど、いろんな人のために頑張っているパパがカッコよくて大好きだよ。パパがうったコロナワクチンで早くコロナがなくなるといいな。

コロナがなくなったら、たくさん遊んだり、おでかけしようね。家族のために、たくさんはたいてくれてありがとう。これからも元気でいてね。大好きだよ、パパ。

第1後方支援連隊

自衛官の夫を支える事務官の妻として

第1整備大隊本部付隊
平野2曹 妻

私は、夫に日々感謝して過ごしています。現在は第2子出産の為、産休を取得していますが、普段は事務官として勤務し、仕事と子育てを両立してきました。

長男は3歳で幼稚園に通園しています。これまで体調を崩すことが多く、看病の為に休暇を取らなければならなかったが、夫は交互に看病出来るように職場と調整してくれました。また、私の繁忙期には夫が嫌な顔ひとつせず仕事を切り上げて長男の迎えに行ってくれました。子育てと仕事を両立出来るのは夫だけでなく、このような状況にあっても周りで支えて下さる上司、同僚の皆さんのおかげです。日々、夫と支え合いながら周りへの感謝も忘れず、過ごしていきたいと思っています。



第1特殊武器防護隊

そして自衛官に

吉岡士長 父



兄弟と記念写真

(写真右から2番目：吉岡士長)

当初強い意思で大学を目指し、受験勉強をしていたが、高2の終わり頃から勉強内容に無意味さを感じるようになり、モチベーションが下がってしまいました。母親は浪人させたい意向でしたが、それでは問題解決とはならず、このままでは社会性に乏しいままの大人になってしまうのではとの危機感から、運動や人との交流不足の改善、自立促進という観点から、自衛隊が思い浮かび、説得して入隊を薦めたのがきっかけでした。

性格的に真面目である事から、自衛隊との親和性はあると思っていました。

入隊当初は辞めたいと口にはしている時期もありましたが、今では楽しそうに部隊の話をしてくれるまでになりました。自衛官になって本当に良かったと、家族皆心から応援しております。

家族みんなで応援しています！

出浦士長 父

いつも息子の純平が大変お世話になっており、ありがとうございます。

純平は学生時代、地元長野を離れ、神奈川県で一人暮らしをしておりました。学生時代も終盤となり、私達は、就職はどうするのかと気にしていたところ、本人から入隊の希望を聞き、家族一同驚きました。

三人兄弟の末っ子で、いつもマイペースな純平が自衛隊への熱い気持ちを秘めていたとは・・・

自衛隊での規律や集団行動に耐える覚悟はあるのか心配でしたが、本人にしてみれば全く問題ないとのこと。生半可な気持ちではないとわかり、そんな息子が誇らしいこともあり、心配もあり、とにかく応援していかうと思いました。

入隊2年目ですが、会う度に体がひと回り大きくなっていて頼もしい限りです。帰省した際は、家族や地元の友人たちとコミュニケーションをとりながら、リフレッシュを図っているようです。

今後とも体調にはくれぐれも留意し、さらなる成長ができるよう皆で応援していきます。



家族と記念写真
(写真左：出浦士長)

退官者紹介

第1普通科連隊

本部管理中隊



准陸尉 大津 孝始

第32普通科連隊

第3中隊



准陸尉 三浦 弘幸



陸曹長 大森 雅一



陸曹長 宮下 一仁

第34普通科連隊

本部管理中隊



3等陸尉 若月 雅人



准陸尉 木下 峰男

第1特科隊

隊本部



2等陸佐 石橋 公一



3等陸佐 深澤 達人



陸曹長 坂本 晃

第1後方支援連隊

第2整備大隊

第3普通科直接支援中隊

准陸尉 星野 裕之

永年の勤務、
本当にお疲れ
さまでした。

フォロー
募集中！！

隊員自主募集ご協力をお願い

一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が改正！

18歳以上33未満の男女

自分たちの「同僚・先輩は白らの手で」

悩み相談 0120-1848-38
心理相談 (第1師団心理幹部) 8-31-2215
法律相談 (第1師団法務官) 8-31-2266
倫理相談 (第1師団法務官) 8-31-2265
「うつ」隊員等のサポート 0120-834-939

【お知らせ】
開館時間は平日の9時から
15時までです。
お申し込みは1週間前までに
ご連絡下さい。